

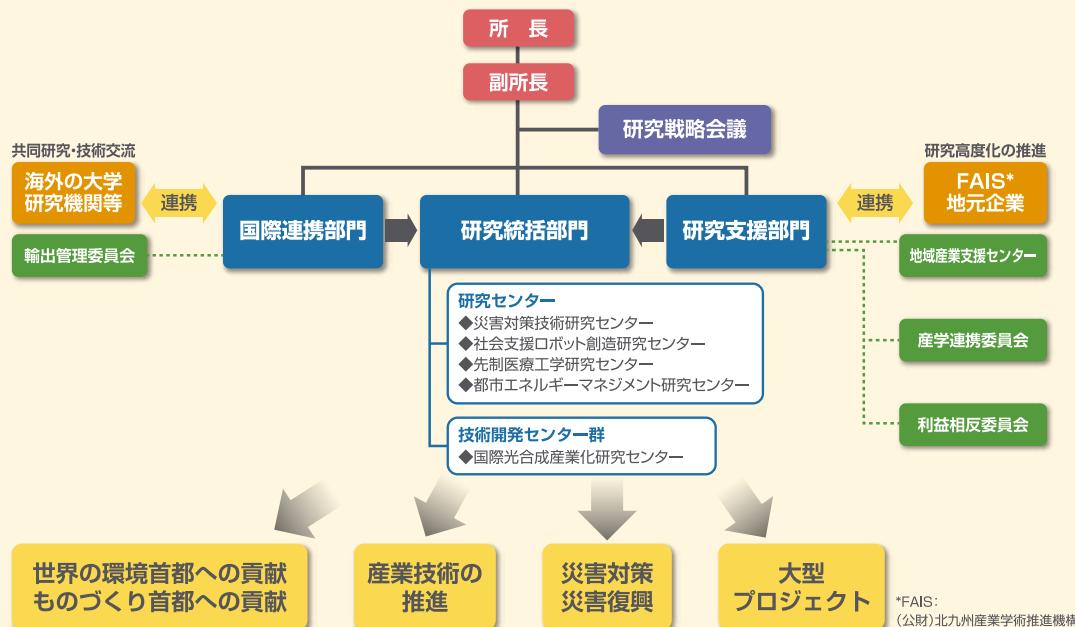
# 快適で持続可能な都市機能の実現に向けて ～環境技術研究所の新たなステージ～

## 研究体制がさらに強化されました！

環境技術研究所では、これまでの研究プロジェクトの成果を踏まえ、また、重点的に進めていく研究開発の方向性を戦略的に定め、研究統括部門における研究センターおよび技術開発センターの統合・整理により、体制強化をしました。

2017年10月現在、災害対策技術研究センター、社会支援ロボット創造研究センター、先制医療工学研究センター、都市エネルギー管理研究センターの4つの常設研究組織により、分野横断的なプロジェクトを戦略的に展開しています。

### 組織図



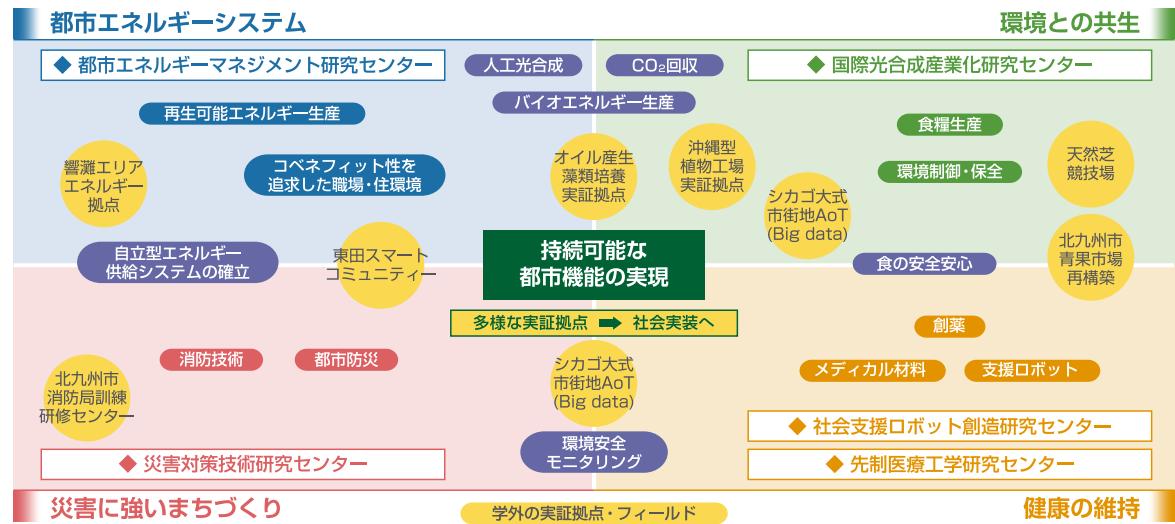
9月に新たに常設組織として始動した**先制医療工学研究センター**は、新研究施設IEST Lab.(2017年4月オープン)を拠点とし、健康で質の高い生活の維持に向けた統合型テクノロジーの研究開発を地域の医歯工連携や産官学連携による分野横断メンバーからなる複数の研究チームにより進めています。(特集1) 当センターは、これまで時限的に設置される技術開発センターとして活動していたバイオメディカル材料開発センターが発展的に改組したものです。今後は、先制医療工学というより広い取り組みを新たに推進していきます。

同じく、常設組織として4月に設置した**都市エネルギー管理研究センター**では、これまで国際環境工学部の各分野で個別に取り組んできた「エネルギー」という共通テーマを、分野を超えた連携体制により戦略的に推進しています。持続可能な低炭素社会実現に向けて、OECD(経済協力開発機構)がグリーン成長モデルとして選定した4都市の国際連携により、世界的なスケールでの研究を進めるなど、さらに広がりを見せてています。(特集2)

また、これまで技術開発センターとして、消防技術や都市防災に貢献してきた環境・消防技術開発センターを**災害対策技術研究センター**に統合しました。研究対象の方向性を同じくする常設センターに融合させることによって災害に強いまちづくりというテーマに向かって、継続的、発展的な研究開発を進めます。

## 新体制における環境技術研究所のアプローチ

地域産業の発展に貢献する研究所を目指す環境技術研究所は、現在、低炭素社会が要求される中で、市民にとって快適な環境を保証しながら持続可能な都市機能を実現するための研究開発、政策提言、人材育成に取組んでいます。研究センターと技術開発センターはその使命を「都市エネルギー・システム」・「災害に強いまちづくり」・「環境との共生」・「健康の維持」の四つの領域から網羅的にアプローチします。



## News Pick-ups

### IEST Lab. オープン！

IEST Lab. 2013年にその後の10年間を見据えて策定した将来構想「ビジョン2013」でとりわけ目指してきた研究環境の充実。北九州市立大学創立70周年を記念して新研究施設が建設され、2017年4月にオープンしました。環境技術研究所の英語名の頭文字を使ってIEST Lab.と命名し、ロゴも新たに本学の学生によりデザインされました。

オープニングでは、北九州市の梅本和秀副市長、北九州産業学術推進機構（FAIS）の松永守央理事長らをお迎えして、本学理事長の津田純嗣、学長の松尾太加志、環境技術研究所長の梶原昭博とともに盛大にセレモニーをおこないました。

また、当日は、IEST Lab.で進めるバイオマテリアル分野の専門家により、「北九州地区に先進バイオテクノロジーの産業の芽を」と題する記念シンポジウムを開催しました。



IEST Lab.



オープニングセレモニー



記念セミナー



祝賀会

### 産学連携・研究支援室のご紹介

強化した研究統括部門の活動を支えるため、研究支援部門も強化しました。新たにURAを配置して、産知的財産管理・学官連携コーディネーター、利益相反アドバイザー、知的財産専門職員とともに、「産学連携・研究支援室」で研究者を支援します。

研究者が気軽に立ち寄り、情報交換、研究相談ができる場所としても利用されています。また、企業からの技術相談にも応じていますのでぜひご活用ください。

#### 産学連携・研究支援室の新加入スタッフ紹介

環境技術研究所  
知的財産管理・産学連携コーディネーター兼 URA

特任教授 中村 邦彦



金属メーカーや化学メーカーにおいて、研究開発、知的財産業務に従事した後、平成16年の国立大学法人化に際して北九州市にUターンし、九州工業大学の産学連携・知的財産部門で13年勤務しました。4月からはこれまでの経験の集大成として産学連携のお役に立てることが出来ればと思い北九州市立大学環境技術研究所の産学連携・研究支援室で働くことになりました。本学の研究者の先生方やその研究成果に刺激を受ける毎日ですが、コーディネータの井上正先生、利益相反アドバイザーの安東静先生、専門事務職員の有薗和子さんらと机を並べて仕事しておりますので、産学連携のことは何でもお気軽にご用命頂ければありがたく存じます。



#### お問い合わせ

E-mail:kikaku@kitakyu-u.ac.jp TEL:(093)695-3311  
企画管理課 企画・研究支援係